

携帯電話等エリア整備事業の概要

携帯電話等は国民生活に不可欠なサービスとなりつつあるが、地理的条件や事業採算上の問題により利用することが困難な地域や現在の携帯電話システムの主流である3.9世代移動通信システム（LTE）以降のシステムが利用できない地域がある。それらの地域において携帯電話等を利用可能とし、LTE以降のシステムの普及を促進することにより、電波の利用に関する不均衡を緩和し、電波の適正な利用を確保することを目的とする。

施策の概要

地理的に条件不利な地域（過疎地、辺地、離島、半島など）において、地方公共団体が携帯電話等の基地局施設（鉄塔、無線設備等）、伝送路施設（光ファイバ等）を整備する場合や、無線通信事業者等が基地局の開設に必要な伝送路施設や高度化施設（LTE以降の無線設備等）を整備する場合に、当該基地局施設や伝送路の整備に対して補助金を交付する。

- ア 事業主体：** 地方公共団体 ← 基地局施設・伝送路施設（設置）
無線通信事業者 ← 高度化施設（設置）、伝送路施設（運用）
- イ 対象地域：** 地理的に条件不利な地域（過疎地、辺地、離島、半島など）
- ウ 補助対象：** 基地局施設（鉄塔、局舎、無線設備等）、伝送路施設（光ファイバ等）、高度化施設（LTE以降の無線設備等）の設置費用
伝送路施設の運用費用（※中継回線事業者の設備の10年分の使用料）

エ 負担割合：

（基地局施設の設置費用）

【1000世帯以上】

国 1/2	都道府県 1/5	市町村 3/10
----------	-------------	-------------

【1000世帯未満】

国 2/3	都道府県 2/15	市町村 1/5
----------	--------------	------------

（高度化施設の設置費用・伝送路施設の運用費用）

【1000世帯以上】

国 1/2	無線通信事業者 1/2
----------	----------------

【1000世帯未満】

国 2/3	無線通信事業者 1/3
----------	----------------

○所要経費（一般会計）

平成31年度予算案 3,165百万円

平成30年度予算額 3,360百万円

<山村地域への補助実績（H29）>

- ・整備箇所：45件
- ・交付団体：計30市町村
- ・実績額：計747百万円

（伝送路施設の設置費用）

国 2/3	離島市町村 1/3
----------	--------------

※以下の事業主体の場合国の補助率が異なる

- ・財政力指数0.3未満の有人国境離島市町村（全部離島）は4/5
- ・道府県・離島以外市町村は1/2、東京都 1/3

イメージ図

